

NTT西日本グループ地球環境憲章

私たちは、環境保護活動を推進することは社会とともにある企業の社会的責任であるという考えのもと、「NTT西日本グループ地球環境憲章」を制定しています。NTT西日本グループでは、その憲章に基づき、各目標及び実行管理項目を定め、環境保護活動を推進しています。

NTT西日本グループ地球環境憲章

基本理念

人類が自然と調和し、未来にわたり持続可能な発展を実現するため、NTTグループ地球環境憲章に則り、NTT西日本グループはグループ会社と一体となって、全ての企業活動において地球環境の保全に向けて最大限の努力を行います。

基本方針

1. 法規制の遵守と社会的責任の遂行

環境保全に関する法規制を遵守し、国際的視野に立った企業責任を遂行します。

2. 環境負荷の低減

温室効果ガス排出の低減と省エネルギー、紙等の省資源、廃棄物削減に行動計画目標を設定し、継続的改善に努めます。

3. 環境マネジメントシステムの確立と維持

各事業所は環境マネジメントシステムの構築により自主的な環境保護に取り組み、環境汚染の未然防止と環境リスク低減を推進します。

4. 環境技術の普及

マルチメディアサービス等の研究開発成果の積極的な社会への普及を通じて、環境負荷低減に貢献します。

5. 社会支援等による貢献

地域住民、行政等と連携した、日常的な環境保護活動への支援に努めます。

6. 環境情報の公開

環境関連情報の公開により、社内外とのコミュニケーションを図ります。

7. 生物多様性の保全

生物多様性と事業との関わりを把握し、生物多様性を将来世代に引き継ぐ為に、取り組みを推進します。

NTTグループ環境ビジョン「THE GREEN VISION 2020」

NTTグループでは人類と地球が調和し、社会の持続可能な発展を実現するために、2020年度に向けた新たな取り組み方針をNTTグループ環境貢献ビジョン「THE GREEN VISION2020」として策定(2010年11月)しました(図1)。

NTTグループ環境貢献ビジョン「THE GREEN VISION2020」では、「低炭素社会の実現」、「循環型社会の形成」、「生物多様性の保全」を未来にわたって取り組むべき3つの環境テーマとして位置付けています。

▶ 3つの環境テーマ

1. 低炭素社会の実現

地球温暖化を防止するため、自らの事業活動に伴うCO₂排出量を削減するとともに、ICTサービスを普及拡大させることで、社会全体のCO₂削減に貢献し、低炭素社会の実現をめざします。

2. 循環型社会の形成

限られた資源を有効利用するため、自らの事業活動から排出される全ての廃棄物と、紙使用量を削減することで、資源循環型社会の形成をめざします。

3. 生物多様性の保全

生物多様性の保全に貢献するため、新たに策定した2つの取り組みの考え方にに基づき、これまで進めてきた取り組みの改善と更なる発展をさせていきます。

図1 「THE GREEN VISION 2020」イメージ



3つの環境テーマの達成に向けては、「Green of ICT」、「Green by ICT」、「Green with Team NTT」という3つのアクションにより、NTT西日本においても取り組んでいます。

NTT西日本グループでは、低炭素化社会の実現と、循環型社会の形成に向けて、特に電力削減量目標と紙使用量削減目標ならびに廃棄物最終処分率目標を「環境グランドデザイン」として策定しました。

環境グランドデザインの2020年度目標については下記の通りです。

環境グランドデザイン

温暖化対策

2008年度と比較し、2020年度には総CO₂排出量を40%削減^{※1}
 (参考)
 2008年度の総CO₂排出量は91万t^{※2}

紙資源削減

2008年度と比較し、2020年度には総紙使用量を40%以上削減
 (参考)
 2008年度の総紙使用量は3.99万t
 2008年度と比較し、2015年度には一人あたりの事務用紙使用量を50%以上削減。
 (参考)
 2008年度の一人あたりの事務用紙使用量は0.99万枚

廃棄物削減

2020年度には全廃棄物合計の最終処分率を1.0%(ゼロエミッション^{※3})に
 (参考)
 2008年度の最終処分率は2.1%
 撤去した通信設備廃棄物については、最終処分率0.1%を維持

※1 電気事業連合会が東日本大震災前に公表した2020年度目標の排出係数0.33kg/kWhを用いて算出しています。今後、東日本大震災の影響等により排出係数の変更がある場合は、目標値を見直す場合があります。

※2 2008年度の実績については、電気事業連合会が公表している排出係数0.44kg/kWhを用いて算出しています。

※3 国連大学が提唱した構想で、産業から排出される全ての廃棄物や副産物が他の産業の資源として活用され、全体として廃棄物を生み出さない生産をめざそうとするもの。NTT西日本グループでは、最終処分率1.0%以下をゼロエミッションと定義。

環境グランドデザインで掲げた目標を達成するために様々な取り組みを実施しています。

電力使用量削減

NTT西日本グループでは、温室効果ガス排出量に影響を与える電力使用量削減に向けて、下記の5本柱の取り組みを推進しています。

レガシー系設備等のスリム化

旧型交換機から新型交換機への更改時における省エネ化を推進する。通信機械室における空調の最適化を実施する。

IP系装置の省エネ開発

省エネタイプのIP系装置を開発し、導入を推進する。

空調更改・効率化開発

現在稼働中の老朽空調の更改及び、室温管理の徹底による空調効率化運転を実施する。

エコオフィス推進

エアコン温度の適正化、照明照度の適正化、不要照明の間引き等オフィス内における節電の取り組みを推進する。

新技術の採用

太陽電池・燃料電池等の再生可能エネルギー等の新技術を活用する。

紙使用量削減

NTT西日本グループが使用する紙には、主に事務用紙、請求書、電報、電話帳があります。

特に電話帳による紙の使用比率は大きく、電話帳の回収徹底や、古紙配合率向上等の紙削減に向けた取り組みを行っています。(P42~45)

廃棄物削減

NTT西日本グループが排出する産業廃棄物には、不要となったパソコンや什器類のオフィス廃棄物、通信ビルや事務所等の建物撤去に伴う建築廃棄物、管路やとう道の工事に伴う土木工事廃棄物、通信ケーブルや交換機撤去に伴う通信設備廃棄物があります。これらの最終処分率^{※4}の改善に向けた取り組みを行っています。(P29~P41)

※4 最終処分率:最終処分量/総排出量で算出され、最終的に埋立処理された比率を表す。

グリーンNTT西日本戦略

NTT西日本グループは電力エネルギーを大量に消費する企業として、自ら積極的に省エネルギーや環境問題に取り組んでいくため、2012年6月、「グリーンNTT西日本戦略」を策定しました。

1. 電力使用量の削減（ピークアウト）

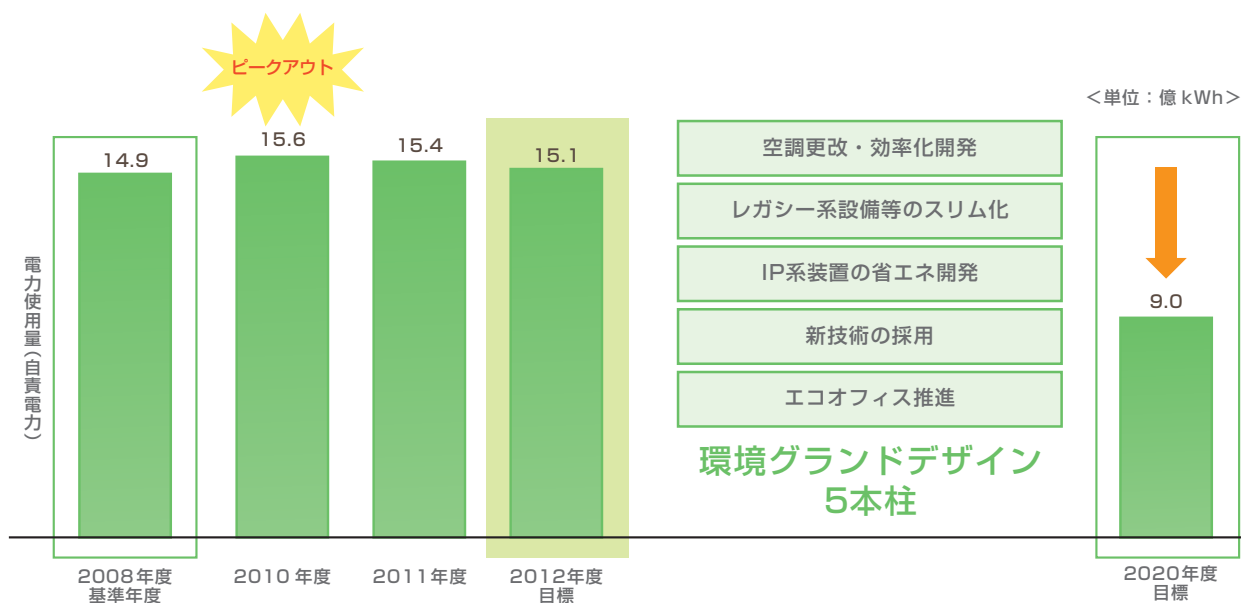
5本柱

エコオフィス

太陽光発電

お客様の使用分を除く電力使用量(自責電力)について、「2020年度には2008年度比で40%以上削減する」ことを目標に、消費電力の多くを占める通信設備の電力使用量削減に取り組むことはもちろん、照明・空調等の電力削減に向けたエコオフィスの推進、お客様がご利用になる情報通信機器の電力使用量削減等に取り組んでいます。また、電力使用量を削減するだけでなく、自分たちで生み出すための「再生可能エネルギーの導入」も進めており、48カ所に設置している太陽光発電システムを今年度末までにはさらに2カ所増やし、合計約1200kWの発電容量を確保する計画も進めています。

・2020年度の目標 2008年度比 自責電力▲40%



2. 環境・エネルギー事業

「エコめがね」、「フレッツ・エコめがね」～「創エネ」「省エネ」の両面から事業を展開中～

現在、「省エネ」と「創エネ」の両面から取り組んでおり、「省エネ」については2012年7月、家庭内の消費電力量を見える化することで、節電及びCO₂の削減に貢献するクラウド型電力見える化サービス、「フレッツ・エコめがね」の提供を開始しました。また、「創エネ」については、昨年6月にオムロン株式会社と設立した合併会社「株式会社NTTスマイルエナジー」を通じて、太陽光パネルを使用しているユーザー向けに、発電量や消費電力量の見える化サービス「エコめがね」を展開しています。

3. 生物多様性保全活動の拡大

植樹活動を中心に生物多様性保全活動を全社的に展開しており、18府県で、約2,000名が参加しています。NTT西日本グループの社員一人ひとりが、環境問題に対してこれからも積極的に取り組んでいきます。